

日本語版

True Peace

Vol. 34

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

天一國 11年

天曆 4月

2023年 陽曆 5月



巻頭言

真の父母様のみ言

特集

HJ NEWS

神韓国ニュース

現場特集

平和世界の礎となる神統一韓国のビジョン

天地人真の父母様御聖婚 56 周年記念式祝勝会 希望に満ちた未来のための召命

天地人真の父母天宙聖婚の意義と 2023 天地人真の父母 孝情天宙祝福祝祭

真の父母様特別写真集

2023 未来世代教師総会

平和運動 / 青年活動 / 主要ニュース



平和世界の礎となる神統一韓国のビジョン

尹煥鎬世界本部長



いつのまにか春の訪れを感じます。春が終わり、夏に入る時期が来れば本格的な農作シーズンを迎え、種を蒔き、力と真心を尽くし、秋を迎えることになります。また、秋には収穫の季節を迎え、これまで丹念に取り組んできた多くのことが実を結びます。ところが「神統一韓国、韓半島平和統一」という結実、様々なアプローチや解決策を通じて、過去 70 年以上大きな努力を傾けてきたにもかかわらず、その結実を見るのは大変難しいようです。

最近 1992 年の外交文書のおよそ 36 万ページが公開されましたが、その内一部には、1991 年度の文鮮明・韓鶴子ご夫妻の訪朝秘話が含まれていると聞いています。先日の「THINK TANK 2022」マイク・ポンペオ元アメリカ国務長官特集フォーラムの際に、マイク・ポンペオ長官が非常に驚いた事実の一つが、「ご夫妻がなんと 1991 年にも、非核化に関する問題だけでなく、核を平和的に使用する部分に関する提案等の話題を議論された」という点でした。こうした点から見た時、総裁ご夫妻が唱えられる韓半島平和統一のビジョンは、単に宗教的解決策、政治的解決策、倫理的解決策のみならず、非常に具体的かつマクロ的な観点から、国際関係のビジョンまで含まれていると考えられます。

最近の青少年は、統一に対してあまり関心がないという事実をアンケート調査を通じてよく知っています。しかし、韓民族の痛み、世界唯一の分断国家であるため、韓鶴子総裁はこうした問題についてもう一度、恒久的平和世界に向けた最も重要な話題であり、ビジョンであることを強調し、「神統一韓国」という 5 文字にそのビジョンを込めて実現しておられます。

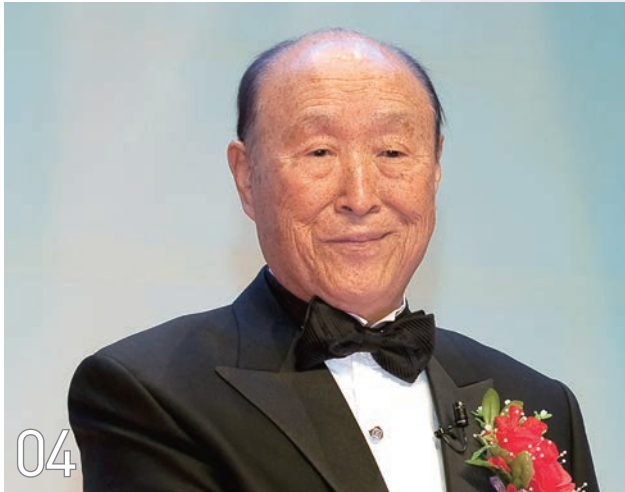
今日、アメリカは「価値同盟」というテーマで「価値」を中心に中国との覇権争いを繰り広げていますが、こうした意味でアメリカでは「インド太平洋」という言葉を使います。しかし、これを韓鶴子総裁は文鮮明総裁の環太平洋というビジョンの延長線上で、環太平洋を含む「アジア太平洋」というビジョンとして新たに解釈してくださいました。韓鶴子総裁は、UPF の 6 本の柱を中心に、世界の各界各層の指導者が宗教、人種、文化、国境の壁を越えて地球村の平和実現、環境問題の克服、家庭の価値回復、不平等の解消など人類の未来に向けた知恵を集めようと WORLD SUMMIT を開催しました。また、昨年 2 月に「韓半島平和サミット」を通じて、新たなアプローチとして南北共同国交正常化国家 157 カ国を連結し、進められました。

これから私たちは、自分の国、自分の民族、自分の氏族を越えて平和というものが「一つのオプションではなく生存」だとみなすべき時期に入りました。神統一韓国のビジョンは韓国だけのビジョンではありません。アジア太平洋地域だけのビジョンでもありません。全世界のビジョンです。全世界が国際関係で絡み合っているため、韓民族だけの努力では不可能です。そのため、韓鶴子総裁はマクロ的な国際ネットワークと国民の統合的な力が支えてこそビジョンが成り立つと語られました。

世の中はまだ難しい環境であり、私たちに対する歴史やビジョンを受け入れるのは容易ではありませんが、一人の夢は夢にとどまったとしても、その夢が共に共有され、分かち合われ、成し遂げるといふ決心が集まれば、それはビジョンになると思います。そのビジョンを皆で一心に前進していくならば、その結実が実現すると信じています。

いつのまにか春の季節が過ぎ、また夏が訪れ、まもなく秋の結実が戻ってくるように、神統一韓国の種が春によく撒かれ、私たちが共に合わせた心と真心で秋の季節を迎え、必ず「神統一韓国」の結実として結ばれることを願います。ありがとうございます。🌸

CONTENTS



巻頭言

- 02 平和世界の礎となる
神統一韓国のビジョン
尹煥鎬世界本部長

HJ NEWS

- 10 真の父母様特別写真集
12 天の父母様聖会時代の礼拝
14 神統一韓国平和フォーラム
17 天一國 11 年 寒食坡州原殿参拝式
18 2023 第 3 次
天寶リーダースクール (CLS) 教育
19 16 週孝情伝道修行キャンプ
20 北漢江千年航路運航、目前に迫る
21 2023 韓国平和宗教学会
春季学術大会

神韓国ニュース

- 22 2023 未来世代教師総会
24 2023 成和学生会長団
希望トップガン
25 HJ エコピース青年奉仕団 発隊式
26 京畿南部大教区
安山青年教会孝童修練会
27 世界元老会結成のための
神統一韓国国民連合元老会結成大会

真の父母様のみ言

04 祝福の意義と価値

天一國經典天聖經 第 11 篇 第 3 章 第 1 節

06 希望に満ちた未来のための召命

天地人真の父母様御聖婚 56 周年記念式
祝勝会

特集

- 08 天地人真の父母天宙聖婚の意義と
2023 天地人真の父母
孝情天宙祝福祝祭

- 30 神統一韓国のための元老会
光州全南団結大会
31 神統一韓国安着 & VISION 2027
勝利のための神統一韓国論教育
開発 TF ワークショップ
32 VISION 2027 神統一韓国安着の
ための第 1 回釜山蔚山大教区
孝情ヌリ

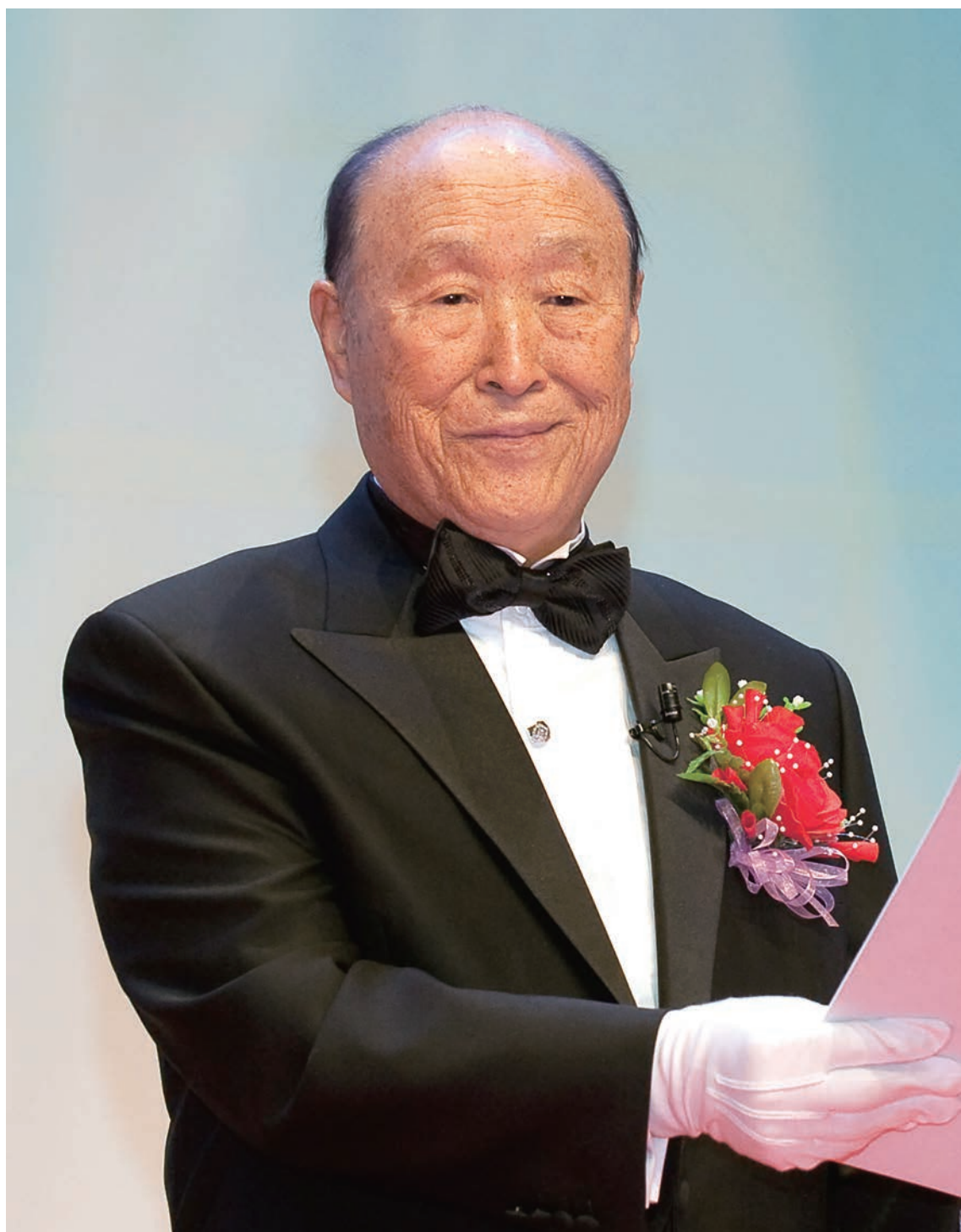
現場ニュース

- 33 平和運動
36 青年活動
37 主要ニュース



祝福の意義と価値

天一国經典天聖經 第 11 篇 第 3 章 第 1 節





祝福は、人間だけのためのものではありません。また、天地だけのためのものでもありません。神様は、御自身の内的な心情の基盤から、すべてを投入して祝福されました。その祝福がそのまま成し遂げられていたならば、この世界、この天地は、勝利の栄光に満ちあふれていたでしょう。そのような世界の中で、神様の心情的なすべての内容を完備した表示体である人間が、神様の喜べる家庭的基盤をつくり、そこで天的な聖業を人間的な聖業として受け入れ、永遠無窮の幸福の福地を建設するようになさったのです。これが神様の理想であり、願いでした。

祝福家庭が、どれほど価値あるものかを知らなければなりません。祝福とは、個人を完成し、善を完成し、子女を繁殖するためのものです。個人完成、相対完成、その次は善の繁殖です。それが人間にとって核心的で、根本的な要件です。

アダムとエバが墮落しなかったならば、彼らの縦的、横的、愛の理想の焦点、すなわち和合の一体的角度を合わせて一つになる場が形成されたでしょう。その場が、人類の真の先祖の愛の設定とともに真の生命の起源が設定され、真の血統の起源が設定される所です。これは、人間だけではありません。人間の心に神様が入ってきて、外的な神様と内的な神様がつつになる結婚式になるのです。それが墮落していない本然の結婚式です。これは、宗教世界において革命的な言葉です。

祝福とは何でしょうか。男性が東だとすれば、女性は西だと言えますが、東と西が平衡の取れた線上で、中心点を中心にして一つに結束するのです。一つに結束させるその力は何でしょうか。愛です。愛によって一つにさせるために、男性と女性を造ったのです。そのため、男性と女性が成熟したあとには、必ず互いになつていける道を訪ねてくるのですが、それが中央点です。その中央点に神様が縦的に臨むことができるのです。

水平線の中で、縦的な九〇度を中心として、三六〇度の中央に連結される位置で神様の愛を中心とすれば、男性と女性がつつになれるのです。神様の愛を中心として一つになったならば、人間始祖は神様の体になります。アダムとエバは何

者でしょうか。実体をまとった神様の体になるのです。それで、コリント人への第一の手紙に、「あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか」(三・一六)とあるのです。私たちの体は神様の聖殿です。墮落した人間が聖殿になれるのであれば、墮落していない本然のアダムとエバは、もちろん自然に神様が臨在できる人間世界の本聖殿になったでしょう。

神様は、プラスとマイナスの二性性相としていらっしゃいます。神様のプラスを分立させたのが男性のアダムであり、マイナスを分立させたのが女性のエバです。そして、アダムとエバを合わせた結実体が子女です。このように、神様を中心として一代、二代、三代が形成されるのです。この三代の中で問題が起こったのが何代かといえば、二代目のアダムとエバの代です。アダムとエバが神様の愛を中心として一つになれませんでした。もし、アダムとエバが神様の愛を中心として一つになっていたならば、神様が臨める関係が決定されるので、子女にも神様と関係を結べる愛の基準が連結されていたでしょう。それを祝福と言うのです。

負債を清算してくれる福の仕組みが祝福でした。歴史時代に初めて、祝福を中心としてすべて清算したというのです。破産者になることを条件として、清算したのと同じです。死ぬしかないとを、それを条件としてすべて清算したので。統一教会の祝福を、有史以来の良と言われるものをすべて一度に積んだものよりも貴いものとして、真の父母を通して出会った愛と生命、そして血統を、どんなものとも取り替えられない、貴いものとして、感じなければなりません。そのため、皆さんの体とすべてのもの、財産を売ってでも、一緒に投入しなければなりません。

統一教会の祝福は、神様の生命と神様の愛と神様の理想の無形の体が、実体で顕現するためのものです。神様の生命と愛と理想を連結させるためのものが祝福です。ですから、神様はどこで喜ばれるのでしょうか。祝福の場で喜ばれます。それによって神様の生命が躍動し、愛が躍動し、理想が躍動するのです。✠

希望に満ちた未来のための召命

天地人真の父母様御聖婚 56 周年記念式祝勝会のみ言
天曆 4 年 天曆 3 月 17 日（陽 2016.4.23）天正宮博物館



6000年ぶりに初めて天の父母さまが共にする場なのです。天の父母様の夢であり、願いであることを実体的に成して差し上げなければならない場です。大変だと思ってもならず、毎日毎日、神様が天地創造をされる時に一つの植物、花を創造され、本当に喜ばれたその心。動物を、小さい動物から始めて、大きい動物に至るまで、創造される時の喜びと愛。最後にはアダム・エバ、人間始祖になることのできるその位置にいるアダム・エバを創造されて、その成長過程をご覧になられながら、喜ばれたその御意。それは、父よりも、母がより感性、表現が豊富であると、皆さんはよく言うでしょう。そうですね。そのような立場にいる母（であるために）、責任が重いのです。しかし私は、私が地上にいる間、天の父母様の願いをなして差しあげようというその心がどんどん大きくなっています。毎日毎日、私は頭でも、また現実としても創造し続けています。

（けれども）皆さんとこの現実において、現実的に十分になり得なくて心が痛いです。皆さんが祝福子女であるならば、真の父母様の前に孝子・孝女・忠臣となるべきです。そうしようとするれば責任を果たさなければなりません。祝福を受けたという、それ自体としてだけで生きていては、歴史に名を残すことはできません。（立派な）先祖になることもできません。ですから責任を果たさなければなりません。その責任は、この六千年間、天が探そうとされた人類73億のために、真の父母様によって道が開かれているのです。真の父母様の在世時に、母がこの地上にいる間に、このことを完成して差し上げなければなりません。そうしようとするれば、各自皆さんの責任を果たしていかなければなりません。

再臨のメシヤ、真の父母様の顕現は（本来）国家基盤で成されるべきでした。しかし2000年の間準備されたキリスト教は、何の音沙汰もありませんでした。何も知らないのです。そうだったので、協助することのできる道がありませんでした。（それゆえ）真の父母は、「どん底から出発するしかない環境で、今日このような基盤を造ったのだ」ということを皆さんは感謝しなくてはなりません。ところで幸いにも、真の父母、真のお母様は（まだ）地上にいます。それをありがたく思わなければなりません。皆さんの一日一日の生活は「ありがとうございます。ありがとうございます。」で出発しなければなりません。そうしてこそ、発展があるのです。歌の歌詞の中に、「欲心一つ脱ぎ捨てると、喜びの花が咲いた。」という、（その気持ちに）当てはまる言葉だからです。アダム・エバは自分を中心とした欲心によって墮落しましたね。そうですか、違いますか？

皆さん、み旨に対する祝福家庭も同様なのです。自分を中心とすることは禁物です。全ての焦点を真の父母、父母様に合わせて、父母様と一心・一体、一つの体となって動じな



ければなりません。父母様の願いが皆さんの願いとならなければなりません。それが、天の父母様の夢を成して差し上げること、すなわち実体的な地上天国であり、（そして）地上天国での生を終えて行くところが天上天国なのです。私たちが肉身をまとって暮らす生活は、永遠なる世界に入って生きる身も心構えも決定付けるようになるのです。無理やり誰かが助けてくれて上がっていったとしても、その環境に同化できなければ自然淘汰されるのです。

ゆえに、天国に行く道は、賄賂がないということです。責任は、皆さん自身が果たすべきなのです。誰かが（代わりに）してあげることはできません。2世、3世も同様です。自分が生まれた目的、その責任を果たさなければなりません。天一国の民として、どのように生きていくべきなのか分かりましたね？（はい。）

それで、私は懇切に皆さんに言います。可能な限り、早く、私が地上にいる間に天の父母様の前に、また、世界人類の前に、真の父母様の生涯、真の父母様の顕現により、本当に世界73億人類のことを想われ、その後代、未来のためのこのように多くの業績を残されました。見せてくださいました。成されたのです。そのことを私がするつもりです。

そうであるならば、皆さんは遅れをとってはならないという話です。分かりましたか？どれだけ生きますか？皆、40を越えたと考えれば、どれくらい生きられますか？皆さんが霊界に行く前に、私が（地上に）いる時に、「責任を果たした」というのと、私が霊界に行ってから「責任を果たした」というのとでは、天地の差があります。天と地よりもっと差があるのです。そのことを肝に銘じながら一生懸命に生きることを願います。それで、私が記憶することのできる皆さんの姿になることを願います。これが真の父母様の愛です。分かりましたか？（はい）昨日は、とても寒かったのですが、恩恵を受けたというので、これから私たちの日々は、将来展開されることにおいては「希望のみです！」

天地人真の父母 天宙聖婚の意義と 2023 天地人真の父母 孝情天宙祝福祝祭



独り子真のお父様と独り娘真のお母様は、墮落した人類の救いのために地上に誕生された。ご夫妻は天の父母様の二性性相の実体を分立した男性実体と女性実体として、天の父母様の祝福の下で聖なる婚姻を成立させ、真の父母として顕現される必要があった。小羊の婚姻の宴と呼ばれる聖婚式が救援歴史の出発点である。

創造以来、無形の本体であられる天の父母様は、小羊の婚姻の宴を待ちに待ってこられた。有形の実体となる人類の真の父母が顕現することを願って来られたのである。天の父母様の男性実体として顕現した独り子真のお父様と女性実体として顕現した独り娘真のお母様は 1960 年 3 月 27 日（陰 3.1）午前 4 時、青坡洞前本部教会でノア家庭祝福行事または天母祝福引継式と呼ばれた佳約式（婚約式）を挙行了した。この日は墮落した人類が天の父母様の前に進むことができるように重生復活してくださる、真の父母様の顕現日として記念することになった。

続いて 1960 年 4 月 11 日（陰 3.16）午前 10 時、青坡洞の前本部教会で独り子真のお父様と独り娘真のお母様の天宙史的な聖婚式を挙行された。天の父母様をお迎えし、真の父母様の聖婚式が行われたのである。真の父母様の聖婚式は天の父母様が真の人類始祖の夫婦を祝福する結婚式の日であり、救援摂理史の歴史的な大転換点であった。同時に、縦的な真の父母としておられる天の父母様が、横的な真の父母として来られた真の父母様の中に住まわれることになった創造歴史の新しい出発点であった。



真の父母様はアダムとエバから続いてきた独り子、独り娘の使命である小羊の婚姻の宴を成功させたことで墮落した天使長の血筋とは関係ない、創造本然の独り子と独り娘として顕現し、天の父母様の真の愛、真の生命、真の血統を中心に人類歴史の新たな出発を開門された。

「今日聖婚式に至るまで準備して来られる神様の心情を何にも形容することはできません。このような場に娘を送ってくださり、6000年の摂理と父のみ旨を叶えようとされるあなたの召命の前に、何とも言えないほどの恐縮の至りです。み旨が叶うその日まで、皆様と心情やすべての面で一致して進むことを誓います。」

真の父母様は天の父母様の誇らしい実体対象として、地上天国と天上天国の建設のための摂理の経綸を自ら陣頭指揮して来られ、聖婚以後、14人の真の子女様を産み、真の父母様家庭の四位基台を完成された。また、純潔な愛に基づいた真の家庭理想を目指す祝福結婚式を全世界的に拡大して来られた。1960年の3家庭を皮切りに36家庭、72家庭、124家庭、430家庭、777家庭、1800家庭、6000家庭、6500家庭、3万家庭、4000万家庭、3億6千万家庭、4億家庭など墮落人間の血統を転換し、天の父母様の子女となった祝福家庭として救援する摂理に勝利された。



天宙聖婚 63 周年を迎えて行われる、第 56 回天の父母様の日および第 64 回真の父母の日記念「2023 天地人真の父母孝情天宙祝福祝祭」は天の父母様の夢を地上で叶えることのできる環境である天苑宮天一聖殿が奉獻され、韓鶴子天地人真の父母聖誕 80 周年記念日に合わせて盛大に行われる。

真の父母様ご夫妻が人類に残された最高の生涯の業績であられる祝福結婚を通じて、天の父母様の創造理想を完成させる男性と女性として、永遠なる夫婦の縁を結び、天地人真の父母様が立てられた伝統を受け継ぎ、天の父母様に侍ることができる真の子女、夫婦、父母として生まれ変わり、成長することができる。🌀



真の父母様特別写真集

天一国 11 年天曆 (閏) 2 月 12 日 (陽 4.2)、摂理の春を迎え、天正宮博物館を巡礼される真のお母様。





天の父母様聖会時代の礼拝

真の父母様は天地人真の父母様天宙聖婚 60 周年記念特別集会を期して、天の父母様聖会を宣布された。これは新しい時代の到来を宣布したものであり、新しい教会像を宣布したものである。すなわち、この時代に世界平和統一家庭連合が進むべきビジョンを提示したものであり、その中で教会が何をすべきかを明らかにしたものであると理解することができる。

教会の本質は歴史の変化によって変わる。それは時代の状況が新しい教会像を要求するからである。もちろん、歴史が変わっても変わってはならない本質がある。すなわち、変わらずに常に教会像を堅持してくれる本質があるのである。

1952 年、世界基督教統一神霊協会（以下、統一教会）がこの時代に出現したのは、キリスト教が歴史の変化による教会像を立てられなかったためである。統一教会は前世紀の間、時代の痛みを解決し、人類に希望を与える教会になるために犠牲と奉仕で使命を果たしてきた。イデオロギー間の紛争、人種間の葛藤、経済的不平等を解決するために、人間性の回復のために役割を果たしたと言える。

統一教会は、その名称にも明示されているように、世界の統一と平和、そして人類の和合のためにその役割を果たしてきた。天の父母様聖会時代の鍵は、天の父母様を人類の真の父母として知らせ、メシヤである真の父母様の業績が完全に現れることにあり、その要求によって出現した新しい教会像が天の父母様





聖会時代に、礼拝を通じて明らかにならないといけない。

天の父母様聖会礼拝は、その名称からも分かるように天の父母様に従順し、奉仕をすることを越えて一人一人の自発性と喜びで、天の父母様を賛美する行為とならなければならない。

そのような意味で、尹煥鎬世界本部長はビジョン 2027 勝利のためのこのような摂理的土台を実践するための最初の核心プロジェクトの一つとして礼拝革新を挙げた。

尹煥鎬世界本部長は、「真の父母様のみ言に従って、天の父母様聖会時代、新たな時代を迎え、天一国の礼拝文化を定着させるためには、基本的に礼拝を支える二つの柱である礼拝内容と形式が変化しなければならない」と話し、「礼拝はミュージカルのような総合芸術、祝祭形式で行われ、すべての人々が楽しめる文化にならないといけない」と伝えた。

また、尹煥鎬世界本部長は「礼拝は単純な通過儀礼や儀式ではなく、天の父母様に喜びをお返しする行為、いつでもどこでも誰でも訪問することのできる場所、皆が一緒に楽しむことのできる祝祭性を持った、共同体心情文化の表象だ」と定義した。

そのために尹煥鎬世界本部長は、世界本部を通じて礼拝コンサルティング委員会と礼拝アカデミー、礼拝支援コーディネーターを構築し、神韓国約 250 の教会の内、第 1 次 10 教会、第 2 次 20 教会をモニタリングし、現在行われているシステムを診断、問題点分析、改善方向支援を通じて、天の父母様聖会時代の新しい礼拝文化を通じた教会成長を成し遂げるために努力しており、今後、神韓国礼拝文化は全世界の教会礼拝文化として拡散していく予定だ。 

神統一韓国平和フォーラム

第43回

「THINK TANK 2022」フォーラム政策研究院主管による、第43回神統一韓国平和フォーラムが天一国11年(閏)天曆2月17日(陽4.7)オンライン双方向で開催された。

平和フォーラムは洪良浩(ホン・ヤンホ)元統一部次官を招待し、「朝鮮半島統一政策の変遷歴史」をテーマに統一政策の歴史を振り返り、未来を展望する時間として設けられた。

フォーラムを主催した尹煥鎬(ユン・ヨンホ)THINK TANK2022フォーラム推進委員長は歓迎の挨拶で、「北朝鮮が核兵器を放棄する可能性が希薄になっている状況の中で、韓国の統一政策も今の安保環境を綿密に調べ、新たに整備していく必要がある」とし、「北朝鮮統一政策の歴史を知り、今日の時代に合った創意的な統一政策を練っていくことは、政府のみならず目覚めている市民団体の役割である」と強調した。

尹煥鎬推進委員長は、「UPFの共同創設者である韓鶴子総裁は、『世界唯一の分断国家である朝鮮半島の平和は、全世界の国際関係で絡まっているため、韓民族の努力のみでは成されない』と語られ、マクロ的な国際ネットワークと国民の統合的な力が支えてこそ可能だというビジョンを提示された。そのような意味で、5月に開催される『Peace Summit 2023』はアジア太平洋時代を迎え、朝鮮半島の平和と統一に向けた国際協力を拡大していくという構想である。このようなビジョンのために全体が共に前進するならば、必ずそのビジョンが実現すると信じている」と伝えた。

特別講演に先立ち、孝情世界平和財団の秦成培(チン・ソンベ)理事長は「神統一韓国論総綱」を通じて神統一韓国の理念である神主義の思想について見つけ直す時間を持った。

洪良浩元統一部次官は、「朝鮮半島統一政策の変遷歴史と評価」をテーマにした特別講演で、朝鮮半島統一政策の主要決定要因として△朝鮮半島での正統性問題△国際情勢△北朝鮮の核問題などを提示し、「北朝鮮が昨年『核武力政策法』を制定したことで、従来の統一政策で想定していた朝鮮半島の安保環境が完全に変わった。南北がいずれも新しい統一政策を検討しなければならない時点にある」と説明した。

また、洪良浩元次官は「韓国の統一政策は基本的に自由民主政治体制の特性上、平和的・民主的方法と漸進的・段階的方法を提案しているが、『韓民族共同体統一方案』が提案されてから30年余りが過ぎた今日、国際的な統一環境の変化を勘案して、安保の現実をより冷静に評価し、修正する必要がある。そのような意味で統一政策の核心原理を4つに圧縮するならば△朝鮮半島統一の当為性、功利性に対する確固たる認識の形成△民族の構成員に人間の尊厳性、平和と繁栄を保障する政治・経済体制選択の問題△これを実現させる方法として平和的・合理的方法を模索し、相手を説得していく問題△統一過程でのリスクを最小化させ、ソフトランディングの統一を実現させていく政策構想に挙げられる」と見通した。



以後、チョ・ヒョングク THINK TANK2022 政策研究院長の司会で進行された平和マダン（討論）では洪良浩元次官とムン・ビョンチョル THINK TANK2022 政策研究院首席研究委員がオンライン双方向の参加者たちとの質疑応答を通じて、神統一韓国のための政策的提案に対してもう少し理解を深める時間が設けられた。

第44回

「THINK TANK 2022」フォーラム政策研究院主管による第 44 回神統一韓国平和フォーラムが天一国 11 年（閏）天曆 2 月 24 日（陽 4.14）京畿道加平 PeaceTV でオンライン双方向で開催された。

今回のフォーラムには秋圭昊（チュ・ギョホ）元駐英大使を招待し、「朝鮮半島の平和と統一に向けた対日外交の方向性は」というテーマで、朝鮮半島統一と日本の役割について話し合う場として設けられた。

フォーラムを主催した尹煥鎬 THINK TANK2022 フォーラム推進委員長は、歓迎の挨拶を通じて、最近韓日首脳会談以降、「韓日関係の新たな未来に対する議論が多く交わされている。また、強制連行や慰安婦問題、福島汚染水問題など過去の歴史と環境関連の 이슈も溢れている」として、「歴史問題は歴史問題として解決するものの、安保協力と経済協力を同時に進展させていく『ツートラック』（two track）外交の内実化が必要だ」と強調した。

また、尹煥鎬推進委員長は、「朝鮮半島の平和と統一に向けて、日本との新たな関係の確立と、日本の役割を正しく提議することは、統一外交において極めて重要な問題であるため、日本に対する『戦略的アプローチ』を深刻に考えなければならない」とし、かつて北東アジア情勢と韓日関係の重要性を説かれた、文鮮明・韓鶴子総裁が、20 世紀の北東アジア冷戦体制で国際勝共運動を展開した理由を説明した。

尹煥鎬推進委員長は「我々は 20 世紀の国際勝共運動を 21 世紀の新価値同盟に昇華させ、新冷戦体制の

危機を克服し、神統一韓国、神統一世界へと向かう価値安保的ビジョンと戦略を日本と共有することが非常に重要だ」と強調した。

この日招待された秋圭昊元駐英大使は、「朝鮮半島統一と日本の役割」をテーマに朝鮮半島の地政学的弱点から始まった韓日関係の歴史を紹介し、「白村江の戦い(663年)」後、日本列島と断絶されていた時から、日本の韓国併合と朝鮮半島分断、さらに今日の現政権自民党の朝鮮半島観を説明した。それと共に韓日間の葛藤構造を詳しく説明し、韓国人の集団的記憶 vs 日本国内の「修正主義的歴史観」、歴史の葛藤により、いわゆる「1965年体制」の和解現象、日本の戦後世代の政治リーダーシップの不十分、対日外交における親日「フレーム」などが韓国政治の不安定要素だと分析した。

さらに、秋圭昊元大使はドイツ統一の過程で確認された米国の役割に言及し、「朝鮮半島統一の過程で、どのように肯定的な側面から日本の役割を引き出すことができるかに対する戦略を講じなければならない」と強調した。また対日外交において「日本の北朝鮮に対する戦後補償問題などをはじめとする多様な事案に対して韓国は戦略的アプローチをしているのかについて、熾烈に考えなければならない」と強調した。

以後、チョ・ヒョングク院長(THINK TANK 2022 政策研究院)の司会で進行された平和の広場(平和討論)では、ムン・ビョン Chol 首席研究委員(THINK TANK 2022 政策研究院)が参席した。朝鮮半島の地政学的運命、日本の朝鮮半島観、そして韓日間の葛藤構造に対する分析と代案提示、さらに朝鮮半島平和の統一に向けた日本の役割などについて幅広い討論が行われた。

特に日本の戦後世代の植民地支配に対する負債意識が希薄になっていく問題と、今日韓日が共有できる戦略的ビジョンなどについて、現場の参加者たちと共に質疑応答の時間を持った。🌀



天一国 11 年 寒食坡州原殿参拝式

韓国の祝日である寒食を迎え、「天一国 11 年寒食坡州原殿参拝式」が天一国 11 年天曆（閏）2 月 16 日（陽 4.6）、皇甫国（ファンボ・グク）神韓国共同会長（神京原国会長）と 2 地区役職員およびキム・ジョンス京畿北部大教区長、祝福家庭などが参加する中で行われた。

この日の参拝式はチョン・ドンウォン神韓国 2 地区 UPF 副会長の司会により、忠孝開門主文孝進様、天総官文興進様、文恵進様、文榮進様など真の家庭の子女様に参拝する時間として行われた。

皇甫国 神韓国 2 地区会長は記念の挨拶で、「一番最初に天一国 11 年の寒食を迎え、坡州原殿の参拝を許して下さった真のお母様の恩賜に感謝申し上げる。この時間は天への孝情により命を捧げ、み旨の前に祭物となられた真の家庭の子女様と統一家の元老・先輩公職者に参拝する時間として設けられた。このような心情で摂理に同参すべき人々が、我々祝福家庭だ」と強調した後、「来る 5 月、天の父母様と真の父母様が願われてやまない、神統一韓国、神統一世界安着の基盤となる天苑宮天一聖殿の勝利的奉献のために、祝福家庭全体は一丸となって全力投球しなければならない。真の家庭の子女様と元老先輩の高貴で崇高な犠牲的人生が神統一韓国時代に輝くことが出来るように責任を果たそう」と強調した。

また、皇甫国会長は「2023 年、国連軍参戦および休戦協定 70 周年になる年と共に必ず、2023 天苑宮天一聖殿勝利奉献と、ビジョン 2027 勝利の土台を準備するために、天上の真のお父様をはじめ霊界が大きな役事で共にして下さい。」と祈願した。

その後、文潤国大叔父、趙元模外祖母、喜進様、大父様および大母様、劉孝元元協会長を原殿で献杯と敬拝、歆饗（フムヒャン）に続き、閉会式の順でこの日の全体の日程が締めくくられた。



2023 第 3 次 天寶リーダースクール (CLS) 教育

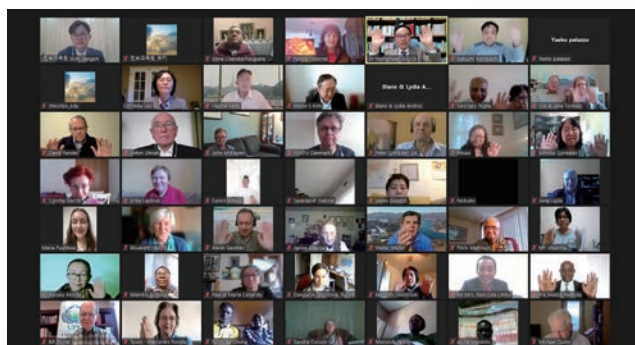
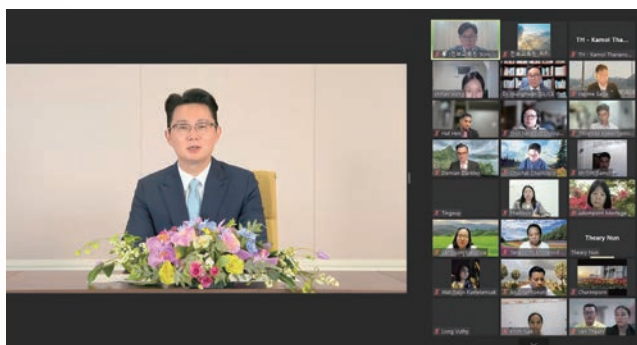
天寶教育苑主管「2023 第 3 次天寶リーダースクール (CLS) 教育」の入学式と 1 回目の教育が、尹煥鎬 (ユン・ヨンホ) 世界本部長をはじめとする各大陸会長、現場の牧会者および公職者、世界各地の祝福家庭など約 1,430 人が参加する中、天・国 11 年天曆 (閏) 2 月 7 日から 13 日 (陽曆 3 月 28 日 ~ 4 月 3 日) にかけて言語圏ごとのオンライン ZOOM で行われた。

昨年第 2 次天寶リーダースクール教育を成功裏に終え、今年第 3 次を迎えた天寶リーダースクールは「43 家庭実勢化のための天寶リーダーシップ力量強化」をテーマに英語 (ロシア語、ペルシア語)、フランス語、スペイン語 (ポルトガル語)、カンボジア語 (タイ語) など、合計 8 カ国の言語圏を対象に毎月 1 回、年末まで 10 回にわたって教育を行う予定である。

参加者は地区の担当者から各授業日の一週間前に教育資料を配布され、内容を熟知してから教育に参加することになる。その後、教育内容に基づいて実際に活動した事例を、教育のある日に共有する方式で教育が進められている。

尹煥鎬世界本部長は歓迎の挨拶で「第 3 次天寶リーダースクール教育に申し込みをしてくれた牧会者と食口の方々に心から感謝する。ビジョン 2027 勝利のため、世界本部は真のお母様と一つになって死生決断、全力投球の姿勢で実質的な教会成長のための 4 大革新を目標に力を注いでいる。」とし「これからミッションの中心は、縦横 430 代の勝利を通じた天寶入籍にあるため、天の父母様の宝となる天寶の路程において、天心苑を中心とした天寶リーダースクールはまことに貴重な土台、貴重な礎石になることだろう。」と強調した。

一方、世界各地で行われている第 3 次天寶リーダースクールは、神韓国と同様に 4 月から 8 月まで 16 週の孝情伝道修行キャンプを並行し、実質的な伝道拡散のためのプログラムとして進められている。 



16 週孝情伝道修行キャンプ

天寶教育苑主管による「16 週孝情伝道修行キャンプ (以下、孝情伝修キャンプ)」の 1 週目の最初の教育が、天一国 11 年天曆 (閏) 2 月 16 日 (陽曆 4 月 6 日) に神韓国特別大陸共同会長、大教区長、現場の牧会者、祝福家庭の 545 人が参加する中、オンライン ZOOM で実施された。

「16 週孝情伝修キャンプ」は、今年特別に天の父母様の実体聖殿である天苑宮奉獻を迎え、天一国の民を探し立てることが重要だと言われた真のお母様のみ言から「43 家庭実勢化拡散および天寶家庭教会安着支援」、「伝道のための 16 週分科プログラム」として設けられた。

朱鎮台 (チュ・ジンテ) 会長は激励の辞を通じて「足りない私たちのために天の父母様が特別恩賜の手を差し伸べて役事された。16 週孝情伝修キャンプが行われる毎瞬間、学ぼうとする謙遜な心で参加し、その後学んだことを一つ一つ実践していけば、伝道の実を結

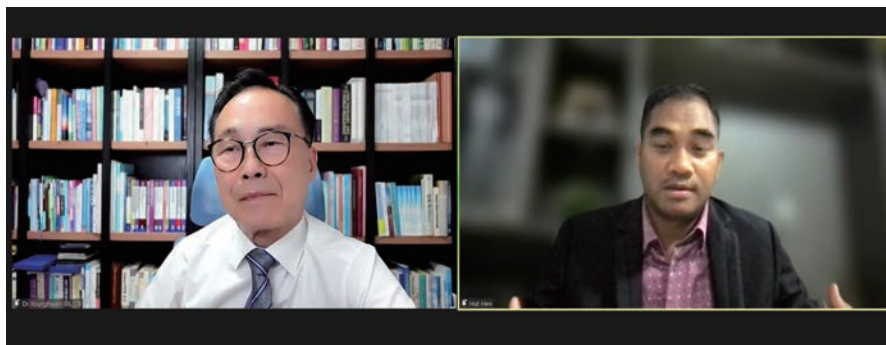
ぶことができると信じる。天寶修行の過程を通じて 3 大祝福の完成実体になることを願っている。」と伝えた。

続いて吉永煥 (キル・ヨンファン) 天寶教育苑長は「精誠の一日」というタイトルで最初の講義を行った。吉永煥苑長は「天寶教育苑は天の父母様聖会の体系化された伝道システムを通じて、教会成長のための新しい信者伝道とその後 の定着・養育システムに力を注いでいる。」として「真のお母様が語ってくださった伝道の生活化ができる人生を送るために、天寶教育苑は実質的な実践窮行の教育を行っていく。」と語った。

現場の事例発表では、現実の困難の中でも天寶コーチングを学びながら成長してきた食口が、いつも肯定的なマインドで伝道を生活化しようとしているという孝情伝道修行と関りのある証しを聞ける時間が設けられた。

第 1 地区教会成長局のイ・ス Chol 部長は特別感想文で「吉永煥苑長の講義以後、教会成長は個人の心とからだの統一、み旨を中心とした食口の心情一致、信仰による実践によって可能だという点を感じられた。何よりこのようなプログラムを通じて再び成長できる足場を設けてくださった真のお母様に深く感謝する。天寶教育苑の修行キャンプを通じて、韓国教会が新たに復興できる良い契機になることを願う。」と伝えた。

天寶教育苑は世界本部、天心苑と一つになって、現場の教会との持続的なコミュニケーションをしながら、実質的な教会成長と伝道拡散の大きな土台を整えるため、16 週孝情伝道修行キャンプを運営している。 



北漢江千年航路運航、目前に迫る

真の父母様の愛と精誠の中で、今年 HJ 孝情マリーナ、HJ クルーズ事業が竣工され運航に入る予定だ。

HJ 孝情マリーナは、清平ダム建設により寸断された北漢江千年航路を復元し、沿岸の生態観光を活性化させ、環境にやさしい航路を確保することで、誰でも HJ クルーズで天恵の自然環境を鑑賞できるよう、大韓民国第 1 号となる「環境に優しい船舶予備認証」を受けた純電気バッテリーで運航される遊覧船を製作した。

北漢江千年航路事業は、公共事業と民間事業に分けられ、それぞれ加平郡と(株)南怡島、清平フェリー、HJ レジャー開発などが協約を結び、船着き場の建設や環境にやさしい船舶の建造などを進めている。

南怡島は船舶 1 隻をエコ遊覧船に改造し、複合機能を備えた船着き場及び充電施設の設置に努めており、HJ マリーナでは国内初建造となる電動船舶 100% の孝情クルーズで航路をつなげる計画があり、清平フェリーも環境にやさしい遊覧船を 1 隻建造して、船着き場の改修と補修、利便施設の拡充をしている。また、ザラ島では統合安全管理センターを構築し、主要観光拠点と疎外地域を結ぶ 12 の運航路線の航路プログラムを開発中である。

HJ 孝情マリーナと HJ クルーズは、北漢江に沿って南怡島と清平を行き来する観光遊覧船として正式に運航し、陸上循環ルートの造成と北漢江水域の主要観光拠点を航路で結びシナジー効果を最大化させ、新規観光資源を発掘し拡大するなど、地域経済の活性化と雇用創出に寄与する方針である。

徐泰源(ソ・テウオン)加平郡守は「北漢江千年航路造成事業は、これまで重複規制という絶望の中で加平郡だけが可能にできる合理的な未来戦略として、沿岸に点在する天恵の観光地を水上交通網という新しい路線でつなげ、水上観光 1 番地加平を目指し、さらに一段階跳躍する契機にすることはもちろん、地域経済の活性化と加平の観光産業の一軸として新しく始めていきたい。」と伝えた。

一方、現在 HJ クルーズは一次試験運航を成功裏に終えた。



2023 韓国平和宗教学会 春季学術大会

韓国平和宗教学会と鮮文大学校鮮鶴平和研究院が共同主催し、(社)世界平和教授協議会の後援で、「2023 韓国平和宗教学会 春季学術大会」が『大転換期の平和と宗教』をテーマに天・国 11 年天曆 (閏) 2 月 17 日 (陽 4.7) 鮮文大学校でオン・オフラインで同時に開催された。

宗教学会学術大会は平和学と宗教学分野を統一的に研究する専門家たちの論文発表、論評、総合討論で構成された。

カン・ファミョン (鮮鶴平和研究院) 責任教授の司会で始まった開会式で、黄善祚 (ファン・ソンジョ) 鮮文大学総長は出席した学者たちの研究と交流を激励し、歓迎の挨拶とした。

この日、シン・グアンチョル教授 (韓神大学) は基調演説を通じて「二つのキーワードで見る宗教界の方向 (『エンデミック』と『チャット GPT』を中心に) 」をテーマにパンデミックからエンデミックに転換する時点から見る宗教界の方向について診断し、宗教界の現在および未来の方向について発表した。

続いて最初の発表で、ユン・ソクジョン博士 (国立外交院) は「強制労働問題を巡る戦後の韓日関係」をテーマに、韓国社会が強制労働問題をめぐる韓日関係の変化について、「主要時期ごとに正確に判断してこそ、それに対する洞察力を通じてその立場を取ることができる」と説明した。

2 番目の発表でキム・ヨンジュン教授 (慶尚国立大学) は「米中関係と逆

キンドルバーガーの落とし穴」をテーマに米中関係の歴史的脈絡および両国間の変曲点になった事件を見つめ直しながら、強大国のパワーゲームの中で選択する現実的で合理的な方案を提案した。

最後の発表でキム・ミンジ教授 (鮮文大学) は「大転換期と宗教のパラダイム転換」をテーマに、「パンデミックによる大転換期を迎え、宗教がどのように自身のアイデンティティを維持するのかについての懸念は、大転換期を経る社会のために宗教が何をすべき

かに対する苦悩に置き換えて理解することができる」と伝えた。

主題発表後に行われた総合討論の間には、キム・イルギ博士 (国家安保戦略研究院)、キム・サンギョ教授 (漢陽大学)、都賢燮 (ド・ヒョンソプ) 総長 (鮮鶴 UP 大学院大学) の論評および質疑応答が自由に続いた。

一方、この日の宗教学会には現場の参加者 20 人と、オンライン ZOOM で参加者約 100 人が参加する中で、様々な宗教学研究の談論が繰り広げられた。🌀



2023 未来世代教師総会

「2023 神京仁国未来世代教師総会」が天一国 11 年（閏）天曆 2 月 11 日（陽 4.1）未来世代教師および青年教会長が計 120 人（孝童子女教師 57 人と成和学生教師 53 人、青年教会長 10 人）が参加する中で、天苑宮天勝教会で開催された。

同日の開会式は、オ・チュンワン ソウル北部大教区蘆原（ノウオン）青年教会長の司会で、準備賛美、敬拝、家庭盟誓、報告祈祷、み言等の順で行われた。

朱鎮台（チュ・ジンテ）神韓国 1 地区会長は開会の挨拶を通じて、天の父母様聖会の礼拝の変化と革新がなぜ必要であるのか、礼拝環境の変化を模索する目的が何であるのかについて強調し、「天の父母様聖会時代の礼拝形式はみ言と本質を守りながらも、様々な人々と世代を受け入れることができるように、教会の敷居を低くし、誰もが簡単に天の父母様と真の父母様に接することができる礼拝としなければならない」と伝えた。

金東宴（キム・ドンヨン）YSP 韓国会長は「真のお母様の本流思想」を主題に特別講義を通じて、真の父母様の生涯路程と真のお母様の最近の摂理を講義した後、匿名質問が可能なプラットフォーム「Slido」を活用して、普段未来世代教師たちが理解するのが難しかったり、気になっていた質問を自由に議論することのできる時間を持った。





ビョン・ジュンホ 1 地区 YSP 会長は、真の父母様の教育哲学をもとに、神京仁国の孝童子女や成和学生の方向性と今後の日程および未来世代教師の正しい姿勢とその教えに関する内容を共有した。

この日、教師総会に参加した孝童子女・成和学生教師たちは戦略的管理体系を基に、神京仁国を越えて天の父母様聖会の礼拝文化と礼拝形式が、一層成長することのできる教師としての資質と力量を備えることを誓い、全体の日程を終えた。 



ソウル北部大教区天苑宮天勝教会 孝童子女教師

今日全体的な方向性や政策などを知ることができ、今後どのように準備すべきか分かりました。 朱鎮台会長、金東宴会長の講義を聞き、基本的な信仰について考え直し、自分の信仰を再び振り返る時間になりました。特に、真のお母様の心情を感じることで胸が熱くなり、子供たちに対する心構えを整えることができました。様々な準備が備えられている状況についての話を聞くと、真のお母様がどれだけ未来世代の教育に関心を持っておられるのかがより一層感じられ、これまで教育面で残念な部分が多かったけれど、今日聞いた内容が希望的に感じられました。このような場を準備して下さった天の父母様、真の父母様に心より感謝申し上げます。



仁川大教区朱安教会 成和学生教師

今日、ビョン・ジュンホ 1 地区 YSP 会長が教会生活と信仰生活について説明してくださり、教師は子供たちが主体的に信仰生活ができるように助けることが使命であり、天の父母様の愛を教えなければならないと語られ、もう一度教師の使命について悟ることができました。

2023 成和学生会長団 希望トップガン

「2023 神京仁国成和学生会長団希望トップガン」が天一国 11 年天曆 (閏)2 月 11 日 (陽 4.1)、成和学生 70 人が集まった中、孝情ユースセンターで開催された。

今回の成和学生会長団希望トップガンは、1) 真の父母様の未来ビジョンを中心とした摂理的方向性教育、2) 成和学生希望トップガン (成和学生会長団) の使命意識を高める、3) 成和学生会活性化および活動方向性の共有に向けた趣旨で企画された。

イ・ジヌ教会長の開会式司会を皮切りに、金東宴 YSP 韓国会長は開会の挨拶で「真の父母様のメシヤ自覚」を重点に、真の父母様の生涯路程講義が行われた。その後、ピョン・ジュンホ 1 地区 YSP 会長による「希望トップガンの役割と教育課程、および未来世代の方向性」という講話へと続いた。

この日参加した各大教区の成和学生会長団は、竹内たか子富川青年教会長と林あきひで永登浦青年教会長、キム・ジュア天勝青年教会長、辺方しんたろう道峰青年教会長のアイスブレイクおよびチームビルディングプログラム、孝情カフェ活動、青坡洞元本部教会の決意式を通じて「希望トップガン」として、成和学生たちの模範になり、休眠成和学生たちの復帰に努めるという誓いを最後に、全体の日程を終えた。 

仁川大教区桂陽教会成和学生

今回、成和学生会長団の希望トップガンに参加し、会長団として決意する時間を持つようになりました。私はとても不足ですが、会長団として、成和学生達とも仲良く過ごし、多くの成和学生たちが教会に来ることが出来るように努力致します。真の父母様の心情をすべて感じることはできませんが、教会生活も熱心にして訓読生活もしながら、天の父母様により一層近づくことができる二世の子女となるよう努力しなければならないと思いました。



HJ エコピース青年奉仕団 発隊式

京畿南部大教区安山青年教会では、安山市ボランティアセンターに公式的に登録した「HJ エコピース青年奉仕団 発隊式」が天一国 11 年天曆（閏）2 月 12 日（陽 4.2）、青年 20 人が参加する中で開催された。



発足式以後、HJ エコピース青年奉仕団は希望の活動である「ジュプキング（ゴミ拾い）」を行った。特にこの日の「ジュプキング」には、発隊式に参加した 20 人の青年の他にも昨年夏季に伝道された 2 人の青年を含む 8 人の青年が共に参加した。

ジュプキングは「拾う（韓国語でジュプタ）」と「走る」という意味の「Jogging」の合成語である。ゴミを拾いながら散歩とジョギングをすることを意味する。

一方、安山青年教会安山 HJ エコピース青年奉仕団は、毎月第 1 週の午後にボランティア活動を行っている。青年奉仕団は安山市の地域社会の様々な奉仕団体および環境協議会、教育団体と連携して、環境保護運動、青少年教育、地域社会の行事に積極的に乗り出す予定である。🔗



京畿南部大教区 安山青年教会孝童修練会

京畿南部大教区安山教区、野木華城、軍浦、果川教会連合の孝童修練会が天一国 11 年天曆 (閏) 2 月 18 日 (陽 4.8)、17 人の孝童と 10 人の孝童教師が参加した中で、安山家庭教会で開催された。

『孝童、僕らはスーパーチルドレン!』をテーマにしたこの日の修練会は開会式、み言、室内・外レクリエーションおよび和動、感想文作成、誓いの時間として行われた。

この日、み言を伝えた青年教会長は、孝童の目線に合わせ、原理とは何か、原理をなぜ学ばなければならないのか、信仰生活はなぜしなければならないのかについて説明する時間を持った。また、「生活の中の原理」をテーマに孝童たちが日常生活の中でどのように生活することが、原理を実践する方法であるのかについて共有した。

その後、修練会に参加した孝童たちは、感想文の作成、誓いの時間を通じて、天の父母様と真の父母様の真の子女として、両親・兄弟・姉妹・友人・万物を愛するスーパー孝童になることをもう一度決意し、全体の日程を終えた。

真のお母様は天一国 10 年天曆 10 月 (陽 2022.11)、家庭連合の二世・三世たちを直に天正宮博物館に呼んでくださり、「私がこれからあなた方を孝童と呼ぶ。孝情の子女、孝情の仲間になりなさい」という意味で、家庭連合の聖日礼拝参加学生と成和学生に「孝童」という名称を命名された。🔗



世界元老会結成のための 神統一韓国国民連合元老会結成大会

大田圏

世界元老会結成のための神統一韓国国民連合大田圏元老会結成大会が天一国 11 年天曆 (閏) 2 月 10 日 (陽曆 3 月 31 日) 大田大教区で開催された。

この日の行事には尹晶老 (ユン・ジョンロ) 神韓国国民連合元老会中央共同会長、イ・ビョンジュ元大田保健大学教授、イ・サンギ元大田保健大学総長、ソン・ボンシク儒城区議長と大田平和愛員など約 210 人が参加した。

来場できなかったパク・ボムイン錦山郡守は、祝辞の映像で挨拶をし、ユン・チャンヒョン、ファン・ウンハ、チャン・チョルミン国会議員をはじめとする地方自治体の指導者たちから激励の祝電が寄せられた。

大田圏元老会結成大会は、式前公演、イ・サンギ元大田保健大学総長の歓迎の辞、イム・ムサン大田圏元老会会長の大会の辞、ソン・ボンシク儒城区議長の激励の辞、祝賀公演、イ・ビョンジュ元大田保健大学教授による平和報告、尹晶老会長の特別講義、閉会の順で行われた。

イ・サンギ元大田保健大学総長 (大田老人大学学長) は歓迎の辞で、「時代が厳しいときほど元老たちの役割が重要だ。今の世代に合わせて元老たちが各分野で努力を惜しまず、新旧の調和による成功的な結実を作っていこう。」と伝えた。

続いて尹晶老会長は特別講義を通じて「神統一韓国国民連合元老会は昨年 (陽曆) 1 月 8 日、韓鶴子総裁によって創設され、韓国の指導者 3000 人余りを教育した。今年の 5 月 3 日には、多くの首脳クラスの指導者が参加する中で世界元老会が結成される。元老会の組織が共生・共栄・共義主義を中心として、国民に神統一韓国のビジョンを説得力を持って提示し、コンセンサスを形成しなければならない。」と伝えた。

今後、大田圏元老会は地域の元老を同じ思いで一つにまとめ、大韓民国の未来世代に統一された祖国を残すための活動を展開していく予定だ。



忠清南道圏

「神統一韓国準備のための神統一韓国国民連合忠清南道元老会結成大会」が、天曆(閏)2月14日(陽暦4月4日)天安統一文化会館で開催された。

この日の行事には趙萬雄(チョ・マンウン)神韓国国民連合元老会中央共同会長、キム・ジェボン忠清南道平和大使会長、チョ・ソンスUPF大田・忠清地区副会長、キム・ポプへ民族統一仏教中央会議長、ソン・ヨンギョ韓米同盟協会自由平和フォーラム会長、チョ・ギュソン瑞山市元市長と平和愛員など約300人が参加した。

忠清南道圏元老会結成大会は、来賓の紹介、玉允豪(オク・ユンホ)家庭連合忠清南道大教区長の歓迎の辞、キム・チャンゲン元老会忠清南道会長の大会の辞、コ・ジョンウォン韓国詩朗読芸術協会常任顧問による詩の朗読、チョ・ソンス副会長の激励の辞、キム・ジェボン平和大使協議会会長とキム・ポプへ僧侶の祝辞、趙萬雄共同会長の特別講義、キム・ガプソク安市東南区元老会長の万歳三唱の順で行われた。

キム・チャンゲン元老会忠清南道会長は大会の辞で「元老会の基本理念は頭翼の理念、愛天・愛国・愛人の理念、共生・共栄・共義の理念で南北統一を準備することにある。」とし、「来たる陽暦5月3日には、神統一韓国と神統一世界のための世界元老会が公式発足することになる。」と明らかにした。

チョ・ソンス副会長は激励の辞で「内憂外患に直面した大韓民国の現実を打開し、国家百年の大計を立てるためには、いつにも増して『元老』の方々の知恵が必要だ。」とし「危機から国を救った忠武公李舜臣(イ・スンシン)将軍、金時敏(キム・シミン)将軍、3・1独立万歳運動を主導した柳寛順(ユ・グァンスン)烈士、尹奉吉(ユン・ボンギル)義士、金佐鎮(キム・ジャジン)将軍、韓龍雲(ハン・ヨンウン)先生など、多くの愛国烈士を輩出した忠清南道の誇らしい伝統を受け継ぐ忠清南道元老会になることを願う。」と伝えた。

続いて趙萬雄会長は特別講義を通じて「グローバル元老の立場で統合ビジョンを示し、世界の共同体で包容と愛のあふれる価値が実現されなければならない。」と伝えた。その後多くの参加者から盛大な拍手が送られ、熱い共感と支持が見られた。

参加した会員たちは、心をついにし同じ志で神統一韓国のビジョン実現の主役になることを決意し、結成大会の全ての日程が終了した。



忠清北道圏

「神統一韓国実現のための神統一韓国国民連合忠清北道元老会結成大会」が天暦(閏)2月5日(陽暦3月26日)忠清北道大教区の清州家庭教会で開催された。

この日の行事には趙萬雄神韓国国民連合元老会中央共同会長、キム・ジンヨン憲政会忠清北道会長、金炳國(キム・ビョングク)清州市議会議員、イ・ワンボク清州市議員、ハン・デス忠清北道平和大使協議会会長の他に忠清北道平和愛員など約300人が参加した。

忠清北道圏元老会結成大会は、イ・サンユン忠清北道元老会事務局長の司会で、告天文朗読、ヨン・インギ大教区長の歓迎の辞、キム・ジョンチュル元老会会長の大会の辞、俞慶得(ユ・ギョンドク)神忠清国大陸会長と趙萬雄会長の激励の辞、自治体長の祝辞(金炳國清州市議会議員、ハン・デス平和大使協議会会長、キム・ジンヨン憲政会忠清北道会長)の順で行われた。

ヨン・インギ忠清北道大教区長は忠清北道元老会結成大会を支持し、忠清北道元老会の壮途に多大な力を注いでほしいと要請し歓迎の挨拶とした。

キム・ジョンチュル会長は「平和世界のために忠清北道の元老たちが一つになって、今まで生きてきた人生の経験と知恵をみな集結させよう。」と激励の辞を伝えた。

俞慶得会長も激励の辞を通じて「元老は年配者の集まりではなく、老練で円熟した大ベテランの集まりである。今日の結成大会を通じて未来世代に希望を与える神統一韓国の灯火、かがり火となることを願う。」と述べた。

続いて祝辞を伝えた金炳國清州市議会議員、ハン・デス平和大使協議会会長、キム・ジンヨン憲政会忠清北道会長は、忠清北道元老会を結成してくれた家庭連合のアイデアに感謝を伝え、文鮮明・韓鶴子総裁の目指す平和世界に貢献できる元老となることを願うと述べ、参加者の積極的な参加を促すメッセージを伝えた。

シン・デシク元老会清州市会長による億萬歳三唱を最後に、忠清北道元老会結成大会は終了した。 



神統一韓国のための元老会 光州全南団結大会

「神統一韓国のための元老会光州全南団結大会」が天一国 11 年天曆 (閏) 2 月 7 日 (陽曆 3 月 28 日)
光州統一会館の大講堂で開催された。

この日の行事には尹晶老 (ユン・ジョンロ) 神韓国国民連合元老会中央共同会長をはじめ、コ・ジェユ元光州市長、オ・ジュ光州市民社会団体総連合会総会長、イ・ジェグアン民族統一団体協議会会長など地域社会の元老および指導者たちが参加した。

光州全南団結大会は、イ・ホンジュ元老会潭陽郡会長の司会で、キム・ジンフィ湖南地区会長の歓迎の辞、ヤン・ウソク光州全南会長の大会の辞、チョ・チャンオン光州全南大教区長の開会の辞、コ・ジェユ元光州広域市長とオ・ジュ光州市民社会団体総連合会総会長の祝辞、李相宰 (イ・サンジェ) UPF 韓国共同会長の激励の辞、シン・ヘジャ詩人の祝歌、イ・ジェグアン民族統一団体協議会会長の感想発表、尹晶老会長の特別講義、キム・フジョン光州全南副会長の万歳三唱の順で行われた。

李相宰 UPF 韓国共同会長は激励の辞で「左翼と右翼の理念の葛藤を越え、平和の灯火となる光州全南元老会になることを願う。」と伝えた。

尹晶老元老会会長は「(陽) 5 月 3 日に開催される世界元老会推進結成大会の場を通じて、光州全南元老会はもちろん、世界各地の元老たちが人類の普遍的価値を中心として一つになれば、全人類は国や民族を超越した重要な洞察力を得ることになるだろう。」と強調した。

神統一韓国国民連合元老会は、真の自由と恒久的平和による南北統一を準備するために発足した団体である。今年の 2 月 24 日、南北統一に向けた国際的連帯組織として「世界元老会推進結成大会」を開催した。



神統一韓国安着&VISION 2027勝利のための 神統一韓国論教育開発 TF ワークショップ

「神統一韓国論教育開発 TF ワークショップ」が天一国 11 年天曆 (閏)2 月 8 日 ~9 日 (陽曆 3 月 29 日 ~30 日) 海洋済州大教区、海洋麗水教区でチョ・ユクヒョン UPF 副会長、イ・ジュン家庭連合副会長、チョン・グクジン YSP 副会長、チョン・ウチョル海洋済州大教区長、ソン・ヨンホ羅州教区長、キム・フェドック淳昌教会長、イ・ボクジン YSP 海洋済州支会長、イ・ドンヒョン UPF 事務局長が参加する中で実施された。

「TF ワークショップ」は 1) 神統一韓国完成と VISION 2027 勝利基盤造成のための機関の使命、2) 神統一韓国論大衆講義案開発、3) 神統一韓国論大衆講義拡散のための講師養成の必要性認識、4) 第 4 地区神統一韓国平和フォーラムを通じた対国民意識変化という趣旨で企画された。

UPF のイ・ドンヒョン事務局長の司会で開会式、模擬講義、コンテンツ紹介、講義案草案執筆の順で行われた。

チョン・ウチョル大教区長は報告祈祷を通じて「真のお母様が人類の 3 分の 1 を復帰しなければならない責任をくださったので、第 4 地区もまた重大な責任があることを想起し、秦成培 (チン・ソンベ) 孝情学術苑長の神統一韓国論を中心に、4 地区に合った講義案を開発して実体的な神統一韓国を安着・定着させられる私たちになれるようお許しください。」と切に求めた。

イ・ボクジン YSP 支会長による「神統一韓国論 (第 5 章南北平和統一への道)」の模範講義をはじめ、ワークショップ参加者は、秦成培孝情学術苑長の神統一韓国論講義案の一部である「統一」と「平和」をテーマに、それぞれ 40 分に相当する講義案草案を執筆した。

この日の「神統一韓国論教育開発 TF ワークショップ」は、神韓国統一論を各現場の状況に合わせてより簡単に力強く伝播することのできる講師の養成により、国民全体が真の父母様の平和統一運動に参加できる基盤を固められる最初の出発が成功的に締めくくられた。🌸



VISION 2027 神統一韓国安着のための 第 1 回釜山蔚山大教区孝情ヌリ

「第1回釜山蔚山大教区天の父母様聖会孝情ヌリ」が天一国 11 年天曆 (閏)2月12日 (陽曆4月2日)、釜山蔚山大教区の本部で開催された。

この日の「3 代が共にする家族祝祭ハンマダン孝情ヌリフェスティバル」には、朴榮培 (パク・ヨンベ) 神韓国 5 地区共同会長、李基植 (イ・ギシク) 大教区長、クォン・インジン副会長、イ・スウォン YSP5 地区会長、釜山蔚山大教区の牧会者、祝福家庭、成和学生、成和子女など約 500 人が参加した。

朴榮培・森永恵美子 5 地区会長家庭による<歓迎します>に続き、<訓読しよう>では李基植・長谷川清美大教区長家庭が孝童たちの視点で「真の父母様の聖婚」と「真の父母様の生涯」を訓読する時間を持った。

<孝情スピーチ>は蔚山教会のイ・サンヒョ孝童が「私、サンヒョの夢」というタイトルでスピーチをした。イ・サンヒョ孝童は両親の信仰の証しと自分の名前に込められた意味について語り、天の父母様が望む世界を成し遂げるために夢を叶えていく孝子になると伝えた。

<孝情分かち合い>では、釜山教会のホ・イルグ、パク・クムスク家庭 (777 家庭) と霊の子の妻の証しを動画で視聴し、信仰と伝統がどのように子供世代に伝授され、相続されたいいかを考える時間として設けられた。

続いて「夢見るホランイ演劇団」による<孝情物語マダン: 神シンボンサと孝女シムチョン>を通じて、父親の目を見えるようにするために孝情の心情を尽くすシムチョンのストーリーから、参加者と孝童が孝情の心情で天の父母様と真の父母様に孝行すべきことを伝えた。

この日の孝情ヌリは、3 代が共にするクイズハンマダン<孝情分科: OX クイズ>で全ての日程を終了した。🎉



平和運動

神アメリカ

第2回「3世代孝心賞授賞式」

アメリカ世界平和華人連合 (CPFWP-USA) とニューヨークチャイニーズスクール共同主催で開催された「第2回 3世代孝心賞授賞式」が天暦(閏)2月11日(陽4.1)、約300人(現場200人)がオン・オフラインで参加する中、ニューヨーク・チャイナタウン CCBA の孫文博士記念館で開催された。

特に孝心賞の授賞式は、孝文化拡散のために3代が同じ家で暮らしている中国系アメリカ人で構成された家庭に授与され、今回の授賞式には11家庭が選ばれた。

エイミー・ヤン CPFWP-USA 会長は、3代の家族が持つ大きな長所の内の一つは、より多くの情緒的支援を受けることができ、世代間の伝統と価値を、自然に次世代に共有できる点を挙げた。

ニューヨークのチャイニーズスクール校長の歓迎の挨拶に続き、黃燁周(ファン・ヨブジュ)世界平和華人連合(CPFWP)世界会長は、生中継を通じて開会の挨拶を伝えた。

龍鄭植(ヨン・ジョンシク)北米大陸会長は、基調演説を通じて「孝行は単純な義務ではなく、愛の一部であり自然に流れ出るものである。」と強調した。

同日の行事は授賞式に続き、2部の特別公演、統一武道示範、億万歳三唱で終了した。



神アフリカ

世界平和統一家庭連合 (FFWPU) および UPF の希望ラジオ放送

アンゴラ世界平和統一家庭連合 (FFWPU) および UPF は、アフリカの預言者ゴンサルベス・シマオ・トコが設立したトコイスト教会と去る25年間協力し、世界平和活動を進めてきた。

現在、トコイストの指導者であるドン・アルフォンソ・ヌネス司教も平和大使として FFWPU と UPF の多様な活動に役立っている。それだけでなく、トコイスト教会は他地域のポルトガルとサントメプリンシペ、カーボベルデ、アンゴラ、コンゴ民主共和国、南アフリカ共和国 FFWPU と UPF とともにコミュニティを形成し、活動している。

アンゴラに本部を置くトコイスト教会は、毎週木曜日ラジオ FM「希望ラジオ」を運営することもあるが、天一国11年天暦(閏)2月16日(陽4.6)、彼らは FFWPU と UPF の「平和と責任ある市民意識」プロジェクトを通じて真の父母様のみ言伝播を極大化できるように協力したいと伝えた。

アンゴラ FFWPU と UPF は地上波ラジオ放送を通じて新しくオープンすることになったプロジェクトを通じて、天の父母様と真の父母様のみ言がより早く実るよう努力を続ける。



世界平和女性連合 (WFWP) 「世界女性の日」フォーラム

コンゴ・ブラザビル世界平和女性連合 (WFWP) と世界平和青年学生連合 (IAYSP) は天一国 11 年天暦 (閏) 2 月 11 日 (陽 4.1)、シコモア教会会議室で 80 人余りのゲストが参加する中で「包摂的なデジタル世界のための：性平等のための革新と技術」というテーマでフォーラムを開催した。

フォーラムは、タニア・ゴンベサ・シコモア教会牧師夫人の祈祷と歓迎の挨拶で開会式が始まった。以後、4 人のパネリストの証と最初の講義として、リディア・ジョージ コンゴ WFWP 会長の講話が行われた。

リディア・ジョージ会長は講話を通して「私たちの活動は新たな始まり、新たな刺激と覚醒を促す。WFWP は去る 31 年間、全世界の女性たちの協力とネットワークで、持続可能な平和文化に基づいた人類一大家族平和世界を実現するために、両性の平等と真の家庭の価値教育の先頭に立ってきた。」と伝え、「WFWP は家庭、地域社会、国家そして世界を変化させるリーダーでありピースメーカーとしての役割を通じて、設立 5 年で国連公報局 (UNDPI) と経済社会理事会 (UN ECOSOC) に登録され包括的協議地位を獲得した」と伝えた。また、リディア・ジョージ会長は「私たち女性は人類の繁栄のための教育、家庭の価値回復、人種・文化宗教を超越した平和環境を創造するために WhatsApp、Facebook、TikTok、YouTube のよ

うなアプリケーションの正しい使用方法を身につけ、伝えるべき義務がある」と伝えた。

続いて、ベイスサ・ペトロニ WFWP ネットワークコーディネーターは「女性は、グローバル女性指導者ネットワークを通じて公益のために活動している様々な分野の女性指導者と交流し、英語の力量を強化し、より良い社会のために寄与すべき責任がある」と伝えた。エマニュエル・エリオン学生部事務総長は「学生たちにとって平等についての教育は、男性と女性の相互補完性尊重だと思う。より良い世の中のために女子生徒たちもまた学業により集中できるように指導したい」と話した。

2 番目の講義を担当した、ヤニック・カソング IAYSP 事務総長は「性平等は持続可能な社会と包容、統合を実現する一つの軸であり、核心価値である。」と話し、「持続可能な明日のための今日の性平等のために、女性と男性が皆、互いの意見を傾聴し、危機を克服する力を育てていくことが出来るように願っている。それに関連して、健康な社会に発展するための正しいプラットフォームの使用に努め、デジタルの肯定的な使い方を学ばなければならない」と伝えた。

最後には、リディア WFWP 女性青年会長にユギ・キセ女史が任命され、行事の全体の日程が終了した。



神中米



ケープタウン世界平和女性連合 (WFWP) の最初の活動

ケープタウン WFWP 発足後、初めての行事である汎市民 100 万人署名運動のための「無料スープとパン提供」が天暦（閏）2 月 18 日（陽 4.8）に実施された。今回の活動はケープタウン WFWP 発足を記念して、ケープタウンセンター前を出発点とし、他の場所で終了した。

ケープタウン WFWP の「無料スープとパン提供」活動は市民から熱い反応を得た。以後、ケープタウン WFWP はさらに多様な活動を通じて、多くの市民が参加して社会的共感を形成するために努力する計画だ。



ブルキナファソ世界平和女性連合 (WFWP) 31 周年記念カンファレンス及び平和大使任命式

ブルキナファソ世界平和女性連合 (WFWP) では、WFWP 発足 31 周年記念カンファレンスおよび平和大使任命式を天暦（閏）2 月 20 日（陽 4.10）、「世界平和のための女性の役割」というテーマで盛況裏に開催した。今回のカンファレンスはブルキナファソの首都ワガドゥグーで 180 人余りが参加した中で開催された。

まず最初に、カボレ・エメ会長による WFWP の活動やビジョンについて紹介する時間が行われた。続いて WFWP のジャックリン会員は、「21 世紀は女性の時代」についての発表と、平和大使ウエドラオゴ・モニックの女性健康と乳がんの予防のための教育が行われた。

以後、平和大使任命式ではタマス・ディアラー ブルキナファソ UPF 会長の「平和大使の 5 原則」の発表に続き、本格的な平和大使任命式が行われた。

任命式に先立ち ジョング・ブレマ 孤児および社会的弱者保護センターの会長は、去る 3 月、社会的弱者のための行事を行った女性連合と、平和大使ウエドラオゴ・モニックに感謝状を授与した。その後、15 人の女性平和大使を指定する任命式が行われた。参加者たちは彼らの任命式に祝賀と歓声を送り、ブルキナファソ WFWP の限りなき発展を祈った。



世界平和女性連合 (WFWP)「世界自閉症啓 発デー」記念 自閉症管理および職業訓練セン ター訪問

ガーナ世界平和女性連合 (WFWP) は国連が指定した「世界自閉症啓発デー」を迎え、天・国 11 年天暦 (閏)2月 24 日 (陽 4 月 14 日)、アクラに位置する自閉症管理および職業訓練センターを訪問した。

自閉症管理および職業訓練センターでは、30 人の特殊教師が自閉症スペクトラム障害を持つ、30 人余りの学生と成人を対象に財団、美容、玉作り、織物など職業技術開発教育および就職可能訓練などを提供している。

この日、ガーナ女性連合会員 (7 人) は障害共感文化拡散の一環として、センターの学生たちと共にする個別活動および団体活動、パフォーマンスなどを通じて障害者と非障害者が疎通を図り、文化的成果を作り出した。

訪問後、ガーナ女性連合は彼らの環境改善に役立てようと生活用品および「幸せおやつ」などを支援し、真の父母様の愛と温もりを伝えた。



青年活動

ロサンゼルス天心苑、 大学原理研究会 (CARP) ワークショップ

ロサンゼルス大学原理研究会 (CARP) の指導者たちは、真の父母様のみ言に従って、神霊と真理で一つになったラスベガスになるための一環として、天暦 (閏)2月 10 日から 11 日まで (陽 3.31~4.2)「天心苑 CARP 指導者ワークショップ」に参加した。

今回のワークショップにはロサンゼルス CARP の指導者 31 人をはじめとする家庭連食口 8 人と、KODAN 食口 7 人が参加した。参加者らは、チョン・ジンファ アメリカ天心苑副院長の指導を受け、天心苑ワークショップで、精誠の基盤を築いた。ワークショップ期間中、参加者の内の 1 人は、天心苑祈祷室で真の父母様の愛と精誠をととも強く感じ、他の参加者もやはり霊・肉界が連結される現実を実感する時間になったと伝えた。



2023 年世界平和青年学生連合 (YSP) 復活節セミナー

ドミニカ共和国の「2023 世界平和青年学生連合 (YSP) 復活節セミナー」が天一国 11 年天暦 (閏)2 月 16 日から 19 日まで (陽 4.6~9) アルモニア・イパーズ農場で開催された。

復活節セミナーにはレオニダス・ベリアード カリブ市長、ドミニカ共和国のベルナルド・クルーズ国家メシヤ、セザール・レガラド UPF 事務総長、カルロス・ヘルナンデス IAYSP 会長、シャニエラ・ペトラ IAYSP リーダー、フィリックス・アンソニ・ガイシア サンティアゴ家庭連合牧師を含め、122 人の地域社会の青年たちが参加した。

今回のセミナーは、家庭連合の二世 25 人と地域社会の青年達を 2 つのグループに分け、カリブ海のレオニダス・ベリアード市長の歓迎の挨拶、セザール・レガラド UPF 事務総長の特別講義 (人格教育)、ベルナルド・クルーズ国家メシヤとカルロス・エルナンデス IAYSP 会長による特別講義 (原理講義および生涯路程) が行われた。

参加者たちは様々なプログラムを通じた教育に感謝の意を表し、次のセミナーへの参加を約束した。



主要ニュース

復活節記念礼拝

米国家庭教会全域では天暦 (閏)2 月 9 日 (陽 4.19)、復活節を迎える記念礼拝を実施した。

この日、インディアナポリス家庭教会では 67 人の食口が参加した中で、第 1 部記念礼拝、第 2 部復活節エッグハント行事を行った。特に復活節記念行事は、天の父母様が創造された美しい環境で両親と子供たちが一緒に和動する時間として進行された。

新型コロナウイルス感染症の防疫規制が緩和され、これまで中断されていた復活節礼拝および行事が再び活気を帯び、シカゴ家庭教会 (222 人)、モービル家庭教会 (50 人)、ダラスフォートワース家庭教会、アリゾナ共同体とクリフトン共同体、ワシントン D.C. とベルヴェデーレ家庭教会でも多くの食口が参加した中で復活節記念礼拝が行われた。いくつかの教会ではこの日を親睦の機会にして、第 1 部礼拝、第 2 部昼食、第 3 部エッグハント行事を通じてお互いに祝福の言葉を伝えながら、交際する時間を過ごした。



神北米・龍鄭植大陸会長招待 ミネソタ連合礼拝

復活節を迎えて、ミネソタ教会では龍鄭植（ヨン・ジョンシク）大陸会長を迎え、天暦（閏）2月17日から19日まで（陽4.7～4.9）、復活節行事が開催された。天暦（閏）2月18日（陽4.8）に開催された復活節セミナーには、約50人の食口が自由な雰囲気の中で質疑応答をする時間が設けられ、天暦（閏）2月19日（陽4.9）、復活節連合礼拝には、約150人の食口がオフラインで、8教区全域から33人の食口がオンラインで参加した。

連合礼拝は、龍鄭植大陸会長の講話や、様々な復活節のプログラムと昼食会が準備され、参加した食口が、復活への本当の意味を新たに理解する時間として準備された。

礼拝を通じて、食口はもちろん、休眠食口もまた、アットホームな復活節祝祭を楽しむ時間となった。

行事の最終日である天暦（閏）2月19日（陽4.9）には、龍鄭植大陸会長とミネソタ教会15人の食口は、ミネソタで最も大きな湖である「スーペリア湖」を訪問し、天の父母様がくださった美しい自然景観の中で、心情を一つにし、祈禱する時間を持ち、全体の日程を終えた。



天心苑祈禱室オープン記念行事

カナダ天心苑祈禱室オープン行事が、天一国11年天暦（閏）2月19日（陽4.9）、金起勳（キム・ギフン）北米天心苑長、チョン・ジンファ HJ 天宙天寶修練苑北米分苑長、中心食口などが参加する中で記念礼拝として行われた。

同日の記念礼拝は、第1部礼拝礼式、チョン・ジンファ米天心苑分苑長の特別講話、金起勳神アメリカ会長の講話と第2部天心苑祈禱室オープン式の順で行われた。

まず初めにチョン・ジンファ分苑長は特別講話を通じて、HJ 天宙天寶修練苑の歴史と天心苑摂理、そして天心苑を通じた恩恵の証などを共有した。

続いて金起勳会長は、天心苑の摂理に関連した真のお母様のみ言と天心苑の使命を共有し、「すべての食口が神霊と真理で一つになり、天一国時代の天寶入籍者として成長できるよう、天心霊性修練と実践的活動に尽力しなければならない」と強調した。

第2部で行われた天心苑祈禱室オープニング行事は天心苑祈禱室聖燭伝授式、孝情奉獻式、共鳴祈禱の時間として行われた。

特にこの日の行事以後には多くの二世が参加する中で、チョン・ジンファ分苑長の特別講話が行われた。チョン・ジンファ分苑長は、人生の目的、霊界に対する認識、伝統とビジョン相続についての教育を通じて、二世が天の父母様と真の父母様を中心とした天心苑にさらに近づく契機となった。



3 地区・サンタクルーズ教会の 祝福準備修練会

神南米3地区のサンタクルーズ教会は天暦（閏）2月10日から12日まで（陽3.31~4.2）、キム・ドンウ神南米会長、3地域ヒルダ・クララス祝福家庭局長をはじめ、一世・二世の青年候補者39人（男性15人、女性24人）が参加する中で祝福準備修練会が実施された。

今回の祝福準備修練会は、大陸会長の指導の下、祝福の意味と価値、祝福の歴史、祝福を通じた復帰、祝福以後1年間の公職生活の意味について理解する時間として設けられた。

特に修練会最終日には、一世・二世の青年候補者30人の祝福マッチングが行われた。

陽暦5月7日の祝福式を控えて実施されたボリビア祝福準備修練会は、祝福を受けるための教育、祝福マッチングなどの教育で進行され、祝福を準備する候補者たちに、祝福準備を通じて天の父母様と真の父母様の愛とみ旨をより理解することのできる時間となった。



マレーシア祝福家庭部の心と体 ウェルネスコリア旅行

マレーシアの祝福家庭部は天寶摂理を知らせる目的で、天暦（閏）2月16日から22日まで（陽4.6~12）、心と体がすべて癒される「ウェルネスコリア旅行」を実施した。

今回の旅行には家庭連合食口10人、一般人24人の計34人が参加した。

マレーシア祝福家庭部は一般人の見解に合わせて、天寶摂理に対する理解を助ける講座および特別講義の時間を準備し、参加者たちが自然に賛美役事、生命水、祝福の木の祈禱会に参加できるようにした。それだけでなく、参加者たちがHJ天苑を構想された真の父母様の清平摂理を理解できるように天正苑、天寶苑、天心湖などを訪問した。

特に今回の旅行の閉会式にはHJ天田天寶修練苑の講師たちが、参加者に修了証を授与する時間が設けられた。

マレーシア祝福家庭部の新規食口伝道活動の最も効果的な方法の一つである「心と体ウェルネスコリア」旅行は、毎年、より体系的に発展している。✍



